

ソフトバンク株式会社

東京都港区東新橋 1-9-1
<http://www.softbank.jp/>

「セキュリティ全般の知識を身につけるため、Security+が有効と考えます。」

テクノロジーユニット
 ネットワーク統括
 サービスプラットフォーム開発本部
 本部長 折原 大樹 様

導入のCompTIA認定資格

- CompTIA Security+

CompTIA日本支局

東京都千代田区三崎町3-4-9
 水道橋MSビル7F
www.comptia.jp

CompTIAは、1982年、IT業界の要請から発足した非営利の業界団体です。ITに携わる企業や個人の利益を高めるため、「教育」、CompTIA認定資格での「認定」、IT業界の声を反映しIT政策に反映するための「政策支援活動」、IT業界への「社会貢献」の4つを柱として活動を続けています。米国シカゴ本部を中心に世界に10の拠点をもち、2001年に日本支局が設立されています。

ますます需要が高まるセキュリティ人材の育成にCompTIA認定資格を活用

ネットワークセキュリティやリスク管理の基本原則を網羅するCompTIA Security+ をベースに、確かな人材育成を目指す

取得対象者

部門のセキュリティ担当者
 システムのセキュリティ管理者

取り組みの背景

ICTの進歩に伴い、近年増加しているセキュリティリスク。国内大手の通信キャリアであるソフトバンク株式会社においては、ネットワークインフラを担う企業として、リスクに確実に対応できるセキュリティ人材の育成に取り組んでいる。

しかし、セキュリティ全般に対する知識不足が課題に・・・

- 各部門から選出しているセキュリティ担当者は、セキュリティ全般の知識を有しておらず、部門のセキュリティを仕切る立場として不安がある
- 各システムのセキュリティ管理者においても 特定の分野には詳しいものの総合的なセキュリティ知識は不足していた

CompTIA Security+認定資格を導入



CompTIA Security+は、セキュリティ概念、脅威や脆弱性、ツール、対応手順に関連するスキルや、セキュリティインシデントの発生を予防するため定期的を実施されるべき運用手順等のスキルを評価する認定資格。

CompTIA Security+ 試験分野と出題比率

CompTIA Security+ 試験分野と出題比率	
第1章：ネットワークセキュリティ	20%
第2章：コンプライアンスと運用セキュリティ	18%
第3章：脅威と脆弱性	20%
第4章：アプリケーション、データ、ホスティングセキュリティ	15%
第5章：アクセスコントロール、認証マネジメント	15%
第6章：暗号化	12%

取り組み

2020年までに有取得者400名を目標とした育成

Security+は、Level 1において導入されている

Level 1: セキュリティ担当者 … Security+

Level 2: セキュリティ専任者 … CISSP

Level 3: セキュリティ専門家 … GIAC

Security+導入の理由

- セキュリティ全般を学べる入門的な資格
- ベンダーニュートラル
- グローバルに通用する資格*

*Security+認定資格を有するプロフェッショナルは、世界147カ国以上で活躍している。また、米国国防総省では、Security+認定資格を評価し指令書8570.01-Mおよび8140により、取得必須を規定している。

「ネットワークインフラを担う企業として、弊社もセキュリティ人材の育成に力を入れています。しかし、セキュリティ分野は幅広いためどこから知識を身につけるべきか判断しづらいという課題がありました。

セキュリティ全般をカバーできる内容であるCompTIA Security+は、取っ掛かりとして最適であり、まずは基礎知識を習得させたいという目的と合致しました。」

テクノロジーユニット
 ネットワーク統括
 サービスプラットフォーム開発本部
 本部長 折原 大樹 様

CompTIA®